

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	75	17	0	8	○見れる時が少ないのでどちらともいえないのですが、子どもたち、先生方を含めると少し狭く感じます。 ○確保されていると思います。	スペースは国の基準通りですが、当事業所はコーナー遊びによる遊びの選択制を取り入れている事や構造化の観点から一つの場所です一つの活動目的を大切にしているため、居室の仕切りも圧迫感を感じない程度に設定しています。来年度にむけて環境の見直しも検討していきます。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	83	0	0	17	○子どもの人数が、今後増えたりする時は先生方の人数では少ないかと思 います。 ○適切であるかどうかは、素人ではわからないが、子どもの成長や効果的 な支援は実感できています。 ○とても細かく変にもすぐに気づいてくださいます。プロだと感じます。 ○先生の数も個人のその日の様子により増員して対応され安心感がありま す。専門性も様々な知識を職員間で共有していると思います。	現場の配置基準は2名となっています。 保育士は常に配置しており、月・金は作業療法士。 火・水・木・土は臨床心理士、公認心理師を配置して います。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境(※1)になっているか。また障がいの特性に応じ、事業所への設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100	0	0	0	○遊び、学び、運動と分りやすい空間で先生はいつも全員の様子や声を確認できる構造化になっています。	当法人の保育園と室内環境はほぼ同じとなっております。一人ひとりの子どもが夢中になって遊べる環境を大切にしています。 面談が3階になってしまうため、階段を利用することでご不便をおかけしております。
	④ 生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	100	0	0	0	○いつも掃除をして下さり、清潔な空間になっていると思います。	毎朝夕、掃除、消毒を徹底しています。
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、児童発達支援計画(※2)が作成されているか	92	0	0	8	○親とは違う立場にて、子どもの課題をご指摘頂き豊富な経験による多方向からの支援計画を作成されています。	
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」等で支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	92	0	0	8		児童発達支援ガイドラインだけでなく、「保育所等保育指針」もふまえた療育を提供できるようにしています。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	92	0	0	8		
	⑧ 活動プログラム(※3)が固定化しないよう工夫されているか	92	0	0	8	○子どもの意見や様子を見て豊富なプログラム、個人のレベルに応じた内容を実施していると思います。	
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか	75	0	0	25	○近隣の子ロバ保育園の園庭遊び、学年が上の子の行事に参加させてもらったりと色々機会があります。	当事業所は1日3つのクラスで療育を行っています。曜日によってクラスは違います。そのため法人内の保育園や学童保育と行事を一緒に行うクラスもあれば、交流をもたないクラスもあります。療育を行う目的に合わせて交流する時としない時があります。
保護者への説明等	⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	92	0	0	8		
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	92	0	0	8		
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等※4)の支援を行っているか	100	0	0	0	○いつも子どもの様子を見て頂いている心理士の先生よりペアトレの開催が り勉強になりました。 ○ペアトレが4回もありとても勉強になった。	年に5回 4回連続講座としてABA理論に基づいたペアレントトレーニングを行っています。
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解を持っているか	92	0	0	8	○毎回終了時に「通知書」にて当日内容と掲示、給食の分量も明示、先生から直接様子を聞けるなどきめ細かい配慮を頂いています。 ○ほぼ毎日子どもの状況を伝えて頂いています。	当事業所の子どもの記録を保護者の方に確認して頂いています。
	⑭ 定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言などの支援が行われているか	92	0	0	8	○定期的に「おたより」連絡や面談もあいつも育児の相談に乗って頂ける体制で助かっています。また写真や動画で教室の様子を教えてくださいました。	クラスごとにおたよりを発行しています。
	⑮ 父母の会の活動を支援や保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	58	17	0	25	○保護者の皆さんととても話しやすい環境です。 ○懇談会やペアトレの場などで保護者の方と色々話をし情報も教えてもらっています。	ピアカンセリングや懇談会等を通して集まる事もありますが、個別療育の場合は交流がなかったように思います。来年度はクラス事ではなく、気軽に集まれる会を実施していく予定です。
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて対応の体制が整備されているとともに子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	100	0	0	0	○困っている事もすぐに相談に乗って頂き対応方法等(役所の担当者まで)アドバイス頂きその後のフォローもしっかりして頂いています。 ○この先生が一番の相談相手です。	
	⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	92	0	0	8	○子どもの特性の切替が難しい部分も「タイムアウト」にて情報伝達を行うと良い等個々のアドバイスを頂く事色々配慮頂いています。	
	⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	83	0	0	17	○ホームページにて評価等発信されています。	
非常時等の対応	⑲ 個人情報の取扱いに十分注意されているか	100	0	0	0		
	⑳ 緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また発生を想定した訓練が実施されているか	58	8	0	33	○災害緊急時の登録もあり感染症に関する通知、配慮も徹底されていると思います。 ○マニュアルの策定と周知は確認しているが訓練の実施は把握していない。	緊急メール連絡「ハグメール」を活用しています。マニュアルも玄関横に設置しておりますが、じっくり見られる状況でないこと反省し、掲示できる方法を検討していきます。
満足度	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか	67	0	0	33	○別途に定めている消防計画の内容を確認できていない。また重要事項説明所には避難訓練を年2回実施とあるが、年間の予定には火災訓練が年1回のみで必要な訓練が行われていない、把握していない。 ○外遊びの機会に緊急連絡先の公園へ先生と並んでいく練習等もされています。	避難訓練を実施していますが、クラスが多いため実施できていないクラスもあります。どのクラスも実施できるように行っています。
	㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか	83	8	0	8	○楽しく通わせていただいています。 ○普段出発をぐずる事が多いですが、子ロバさんの日は素直に出発の事が多いです。お友だちの名前もその日のことを話してくれて楽しんで通っています。	
	㉓ 事業所の支援に満足しているか	92	8	0	0	○今、こうして毎日過ごしているのも子ロバさんのお陰だと感謝しています。悩んでいた時にかけて頂いた言葉、手を差し出して頂いた事、本当にありがとうございます。これ以上ない満足感です。 ○大満足しています。子どもがぐと成長したし、私もだいぶ精神的にも楽になり育児が楽しいです。 ○いつもお世話になっております。住んでいる区では安心(納得)できる療育がなく、10カ所以上まわりました。通わせていただいています。先生方は子どもに対する言葉がけ両区内容など完璧で満足しています。できましたら放課後等デイサービスでも利用できたら嬉しいです。	

注釈
 (※1)「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をやるのか示すように机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
 (※2)「児童発達支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質の向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項等が記載する計画の事です。これは児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
 (※3)「活動プログラム」は事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動の事です。子どもの障がいの特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせる事が想定されています。
 (※4)「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

【保護者の皆様へ】
 ○この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。
 「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに「ご意見」についてもご記入ください。